

令和元年度 連続特別講義 前半 防災と水環境 (I)

我々は、河川流域を基本単位として循環する水を利用しながら社会経済活動を拡大してきました。高度成長期には激しい水質汚濁、多くの水害と水不足を経験しましたが、高度な技術開発を実用化させ、これらの問題に対処してきました。持続可能な開発目標の達成のため、日本の技術貢献も期待されています。しかし、近年、豪雨による大水害が毎年のように発生し、新たな化学物質による水環境汚染も懸念されています。なぜ新たな水問題が発生しているのでしょうか。また、これらの水問題は新技術で解決できるのでしょうか。信州大学水環境・土木工学科が実務者を招いて行う実務的教育の一部を開放して、皆さんと一緒に考えたいと思います。

参加費無料・参加登録不要

主催：信州大学工学部水環境・土木工学科
後援：公益財団法人西原育英文化事業団
CPD：土木学会継続教育(CPD)認定
受講証明書印刷持参いただければ当日署名押印します。



場所
信州大学工学(長野)
キャンパス



第1回
11月26日(火)
9:00-10:30
関克己
河川財団理事長



自然災害時の危機管理における意思決定の強化
教室：E2-2階セミナースペース

災害発生時の避難指示等発令の判断は、困難な状況の下でなされ、課題を解決できないまま次の災害に直面している。この避難指示等の意思決定の構造を明らかにし、その強化に向けた提案を行う。

第2回
12月31日(火)
9:00-10:30
石渡幹夫
JICA国際協力専門員



日本の防災を世界はどうみているか
教室：W2-403

世界で災害被害は増加し、途上国の成長の障害となっている。日本は長い歴史の中で災害と戦い技術や経験を蓄積してきた。こうした技術や経験をどのように途上国に役立てるのか、考えてみたい。

特別講義開催教室は毎回異なります。下記ウェブサイトで教室場所をご確認ください。
http://www.shinshu-u.ac.jp/access/nagano_technology/#campus

第3回
12月17日(火)
9:00-10:30
小野憲司



阪神国際港湾株式会社副社長
社会インフラ機能継続マネジメントの基礎と実際
教室：W2-403

事業継続計画(BCP)に関する基礎的な理論構成を解説するとともに、港湾や道路等の社会インフラにおける災害時の機能継続能力強化のための機能継続マネジメントの実際とその課題を述べます。

第4回
12月19日(木)
14:40-16:10
豊田政史
水環境・土木工学科准教授



令和元年千曲川水害速報
教室：C3-300

令和元年10月千曲川破堤氾濫被害発生の原因とこれまでに明らかになっている被害の概要を解説します。



問合せ：水環境・土木工学科
吉谷純一
(yoshitani@Shinshu-u.ac.jp)